

文と文をつなぐ言葉 1

学習日 月 日()



例に、二つの文があります。ちがうこと書いていますが、この文と文の間に言葉を入れると、文がつながり、わかりやすくなります。

(例)わたしは、牛乳が好きです。(だから)、毎朝牛乳をのんでいます。

☆例のように上下の文と文をつなぐ言葉を□から選んで()に入れましょう。

①わたしは、図書館に行きました。(そして)、静かに本を読みました。

しかし

②あさっては、テストがあります。(しかし)、せんせん勉強をしていません。

そして

③日曜日に、米子の水鳥公園へ行きました。(また)、水木しげるロードにも行きました。

だから また

④試合に負けてくやしかった。(だから)、次の日から、一生懸命練習した。

いっしょうけんめい

文と文をつなぐ言葉を「接続語」といい、文と文の関係をはつきりさせることをしています。

「だけど」「しかし」「けれども」「でも」は、前の文とちがうことや反対のことをつなぐときに使います。



読めるかな?

☆次の月の名前を読みましょう。

一月…: 瞳月 (むつき)

二月…: 如月 (きさらぎ)

三月…: 弥生 (やよい)

四月…: 卯月 (うづき)

五月…: 雉月 (さつき)

六月…: 水無月 (みなづき)

七月…: 文月 (ふみづき)

八月…: 葉月 (はづき)

九月…: 長月 (ながづき)

十月…: 神無月 (かんなづき)

十一月…: 霜月 (しもづき)

十二月…: 師走 (しわす)

文と文をつなぐ言葉 2

学習日 月 日()



(例) ① この教室は広い。それに、とても明るい。

② この教室は広いし、とても明るい。

①の文は、②のように一つの文で言うこともできます。「～し」「～ので」「～が」も文と文をつなぐ働きをする言葉です。

☆例②のように()の中に言葉を入れましょう。

① 雨がふってきた(**が**)、ハイキングに行つた。

② 赤ちゃんが夜中に泣いた(**ので**)、よくねむれなかつた。

③ 昼きゅうけいに体育館へ行つた(**が**)、だれもいなかつた。

④ あさつては、テストがあります(**が**)、ぜんぜん勉強をしていません。

⑤ 明日は、鳥取砂丘に行く予定です(**が**)、天気予報は雨なので、心配です。

⑥ 試合に負けてくやしかつた(**ので**)、次の日から、一生懸命練習した。

⑦ このお店は、料理がおいしい(**し**)、ケーキもおいしい。

家の人のしるし↓



ヒントです。見なくても書ける人は、すごいですね。よくおぼえました。

文月	如月	神無月	師走	弥生	卯月
臘月	水無月	霜月	葉月	長月	睦月

一月：・(むづき)

睦月

二月：・(き)や(らぎ)

如月

三月：・(やよい)

弥生

四月：・(うづき)

卯月

五月：・(さつき)

皐月

六月：・(みなづき)

水無月

七月：・(ふみづき)

文月

八月：・(はづき)

葉月

九月：・(ながづき)

長月

十月：・(かんなづき)

神無月

十一月：・(しもづき)

霜月

十二月：・(しわす)
師走

☆書けるかな?

☆漢字で書もましょ。

鳥取の昔話 1

鳥取の昔話が方言を使って書いてあります。音読してみましょう。

学習日 月 日()

4-30

「灰のなわ」^{はい} その1

むかしあるとき、役人が村にきて、「どのさんが、『灰でなわをなあてだせ』って、いうことだ。」と、まあ、そういうてきたわけです。

「灰でなわをなあてもつてきたもんには、ほうびをやるつて。」
ということで、村の人はほうびがほしゅうて、いろいろ考えたけど、灰でなわをなうつて、どがにいしたものんだらあか、だれも、それをするもんがありません。
あるわかいもんが、おつかあのところにいて、

「役人がきて、灰でなわをなあたもんはほうびをやるつてきただが、どがにいしたものんだらあかいなあ。」

つて、相談しただつて。

続きを読む

家の人のしるし↓

鳥取の昔話 2

おつかあは、どんな方法を教えたのでしょうか？では、音読してみましょう。

学習日 月 日()

「灰のなわ」 その2

そがしたところが、おつかあが、

「そりややすいこつた。なわをなあて、やきやあはいになるけ、それをだせ。」
つて、いつてかしてやつただつて。

おつかあにいわれたとおりにして、もつていつたところが、とのさんびつくりして、
「なんちゅうちえのあるやつだ。どんなほうびでもやる。」

ついわれただつて、

わかいもんは、ほうびをいっぱいもらつて、うちにもどつただといや。

それから、年よりをだいじにせにやいけんということがわかつただつて。

こうぱり。

鳥取県小学校国語教育研究会編 「鳥取のむかし話」から



原稿用紙の使い方

学習日 月 日()

マラソン大会
四年二組 米田 由美
わたしは、走ることがとても好きです。だから、今年初めて行われる「マラソン大会」では、一位になりたいと思っていました。それで、お父さんにわたしの作せんを話しました。「いい考えだね。最初はまわりの様子を見て、くだり坂で、少しスピードを出すといよ。」と言われて、もう一度作せんを考えました。

次の文章を原稿用紙の正しい書き方に注意しながら、清書しましょう。

マラソン大会
①題名は、一行目に、二字
か三字下げて書く。
四年二組 米田 由美
②名前の書き方に注意し
よう。
わたしは、走ることがとても好きです。だ
から、今年初めで行われる「マラソン大会」
では、一位になりたいと思つていました。
それで、お父さんにわたしの作せんを話しまし
た。
「いい考えだね。最初はまわりの様子を見て、
くだり坂で、少しスピードを出すとい
いよ。」
③書き出しは、三行めに、
一字下げて書き始める。
④行の最後の読点…「、」が行の一番上にくるときは、前の行の最後の
字の下につめて書く。
⑤句点とかぎ…ひとまずに書く。

⑥会話のつづき…会話につづく文は、次の行の一番上から書く。

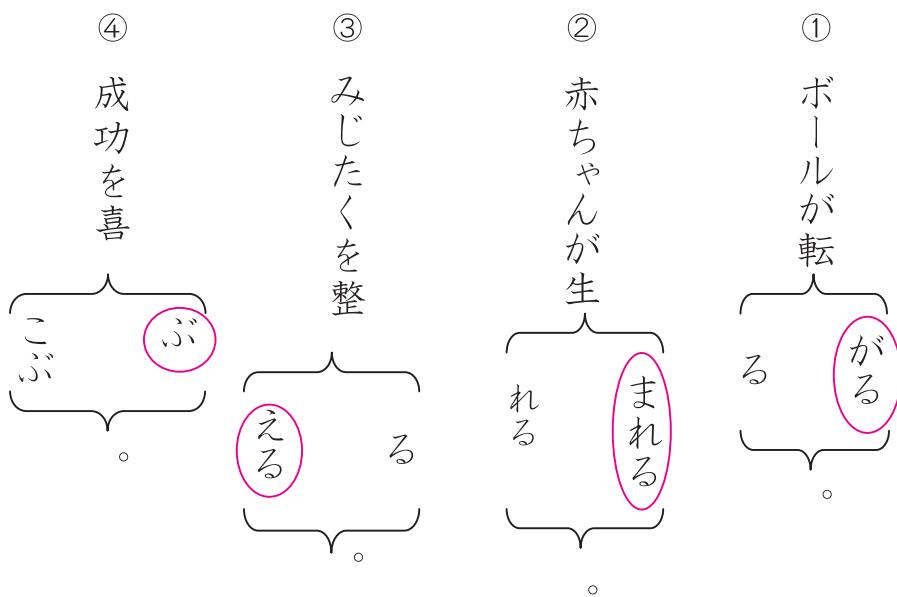
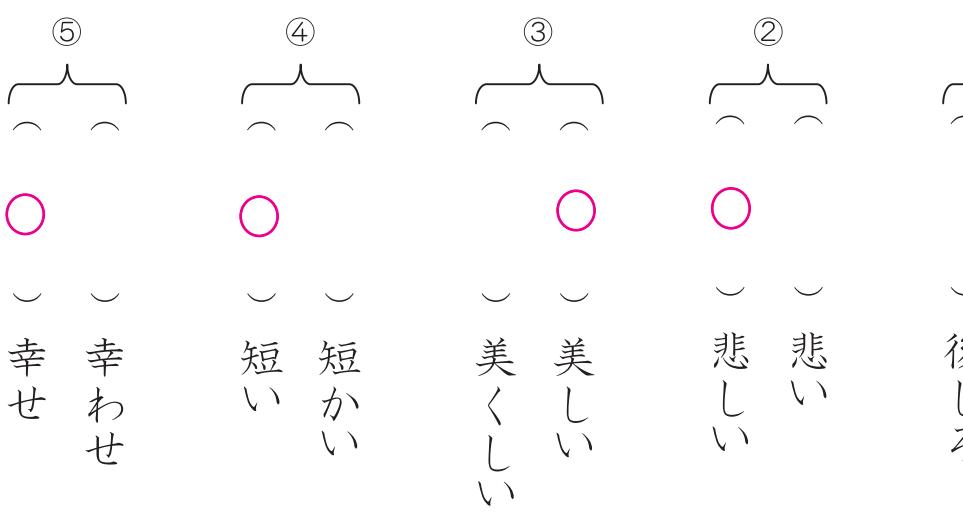
家の人のしるし↓

送りがな 1

学習日 月 日()

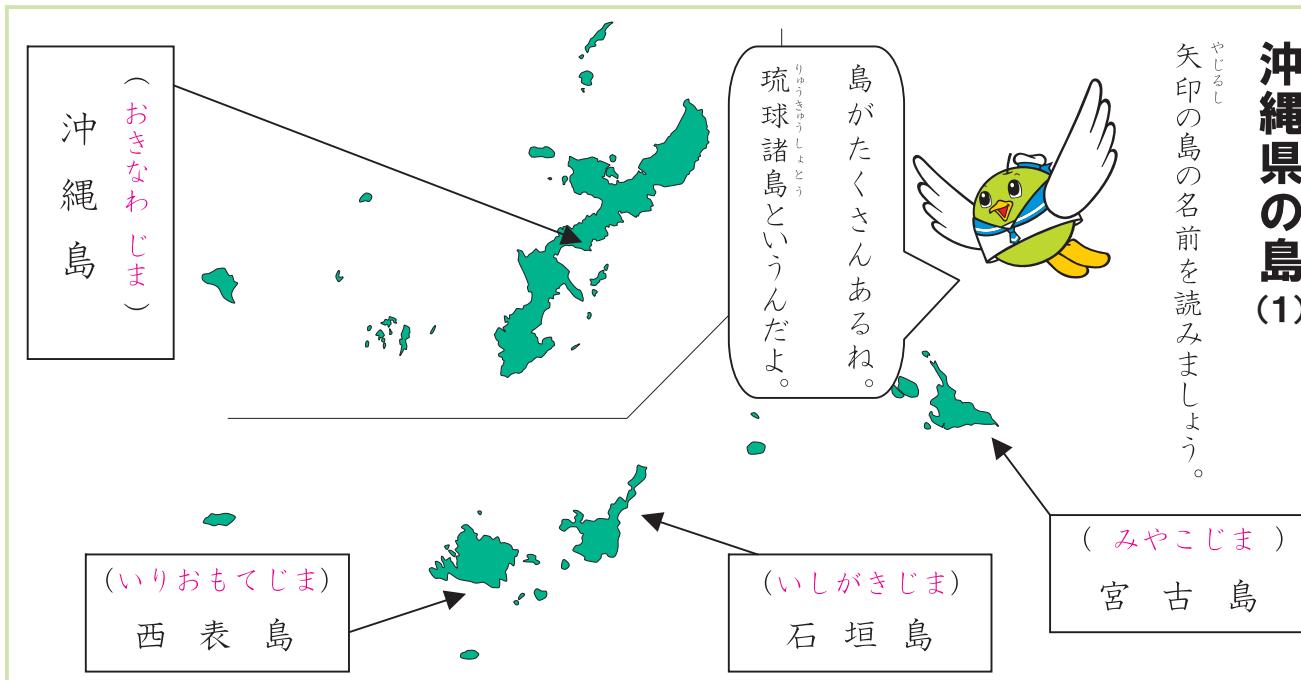
☆ 送りがなの正しいほうに、○をつけましょう。

☆ 送りがなの正しいほうを、○でかこみましょう。
う。



沖縄県の島 (1)

矢印の島の名前を読みましょう。
やじるし



送りがな 2

学習日 月 日()

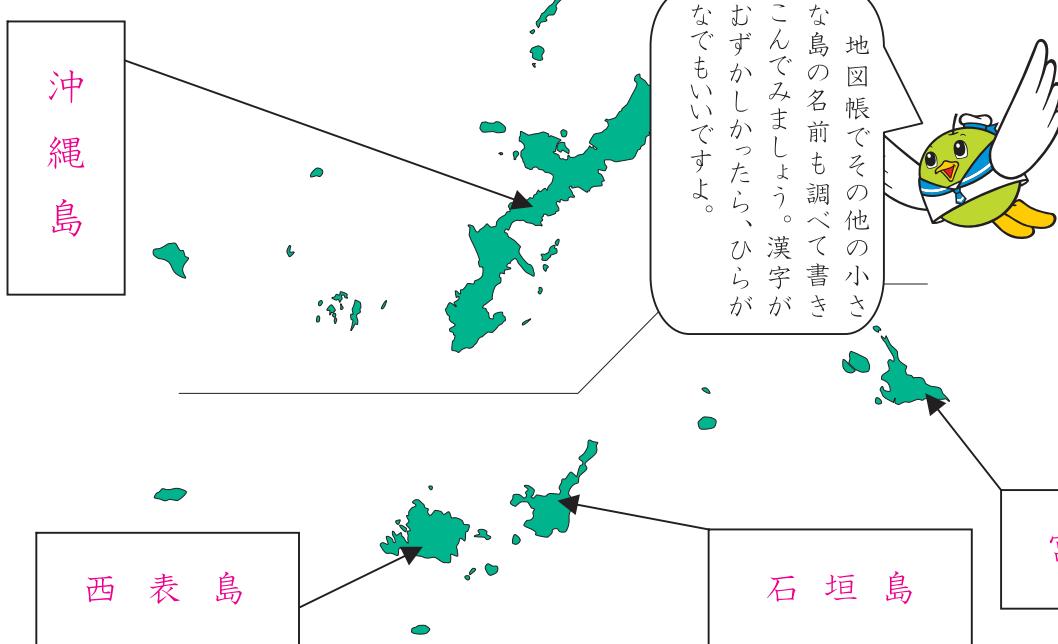
- ☆ 送りがなを書きましょう。
 - ① 人
 - ・道を下(る)。
 - ・少しお待ち下(メイ)。
 - ・王様が命令を下(す)。
 - ② 人
 - ・ニュースを伝(える)。
 - ・漢字は中国から伝(わる)。
 - ③ 人
 - ・春になつて雪が消(える)。
 - ・電気を消(す)。
 - ④ 人
 - ・おまわりさんに道を教(わる)。
 - ・先生が国語を教(える)。
 - ⑤ 人
 - ・魚を川に放(す)。
 - ・星が光を放(つ)。
- ☆ 送りがなを書きましょう。
 - ⑥ 人
 - ・道が二つに分(かれる)。
 - ・トランプを三人に分(ける)。
 - ・テストの結果が分(かる)。
 - ⑦ 人
 - ・温(カイ)はんを食べる。
 - ・ふろに入つて体が温(まる)。
 - ・鳥がたまごを温(める)。
 - ⑧ 人
 - ・ボールがころころ転(がる)。
 - ・大きな玉を転(がす)。
 - ⑨ 人
 - ・山がいくつも連(なる)。
 - ・バスを連(めて)旅行に行く。
 - ・犬を連(れて)さんぽをする。

沖縄県の島(2)

矢印の島の名前を書きましょう。
やじるし

宮古島

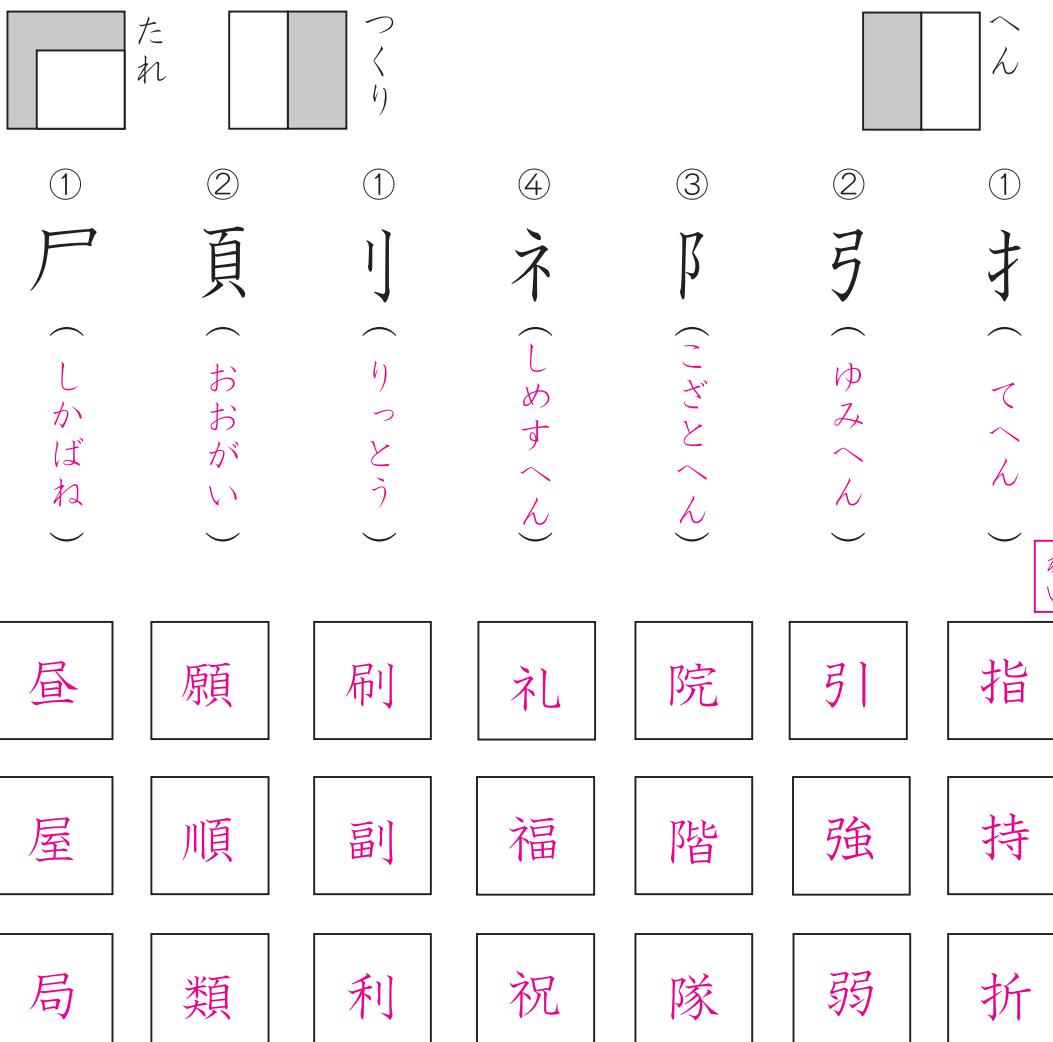
地図帳でその他の小さな島の名前も調べて書きこんでみましょう。漢字がむずかしかったら、ひらがなでもいいですよ。



漢字の組み立て 1

学習日 月 日()

☆次の部首の名前を()に書き、□にその部首のある漢字を集めましょう。

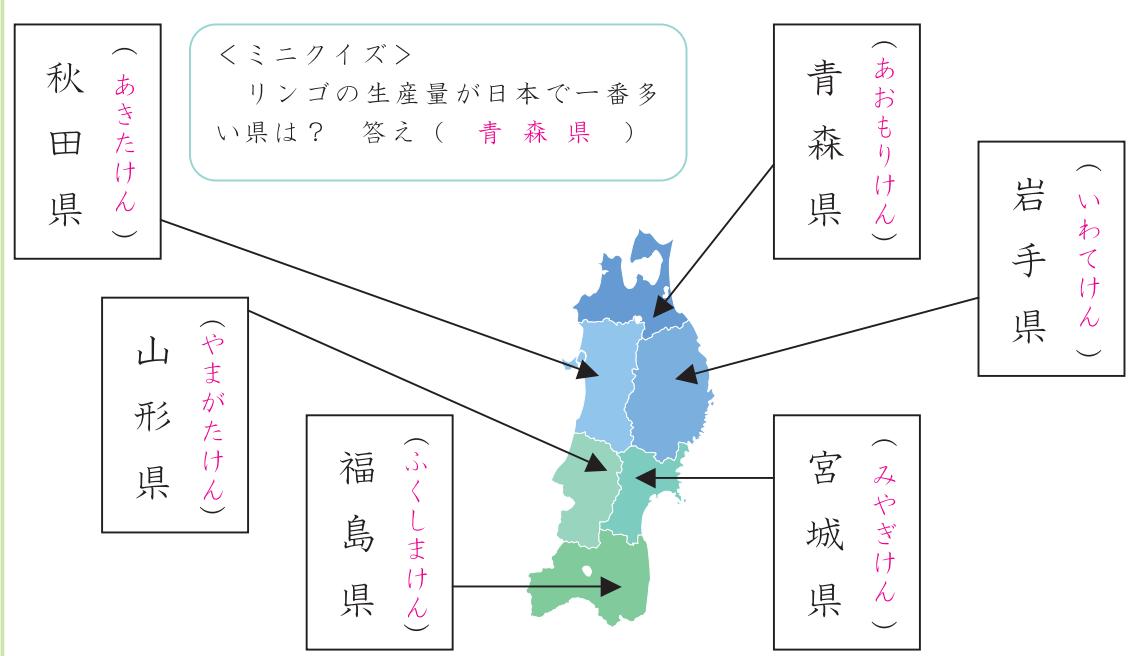


れい

てみましょう。
語ノートに書い
使った言葉を国
集めた漢字を

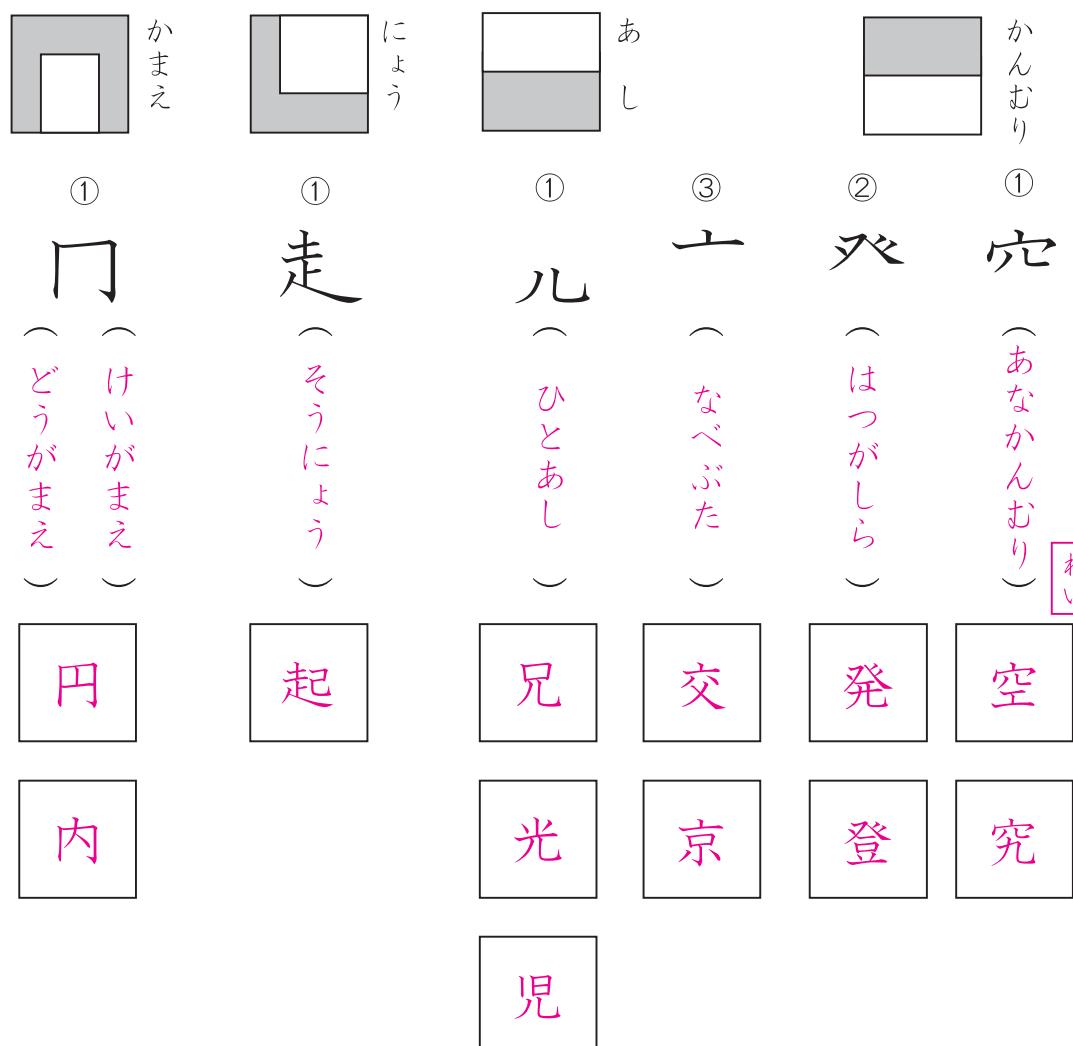
《チャレンジ》

分からないと
きは、漢字辞典
を使って調べまし
ょう。



漢字の組み立て 2

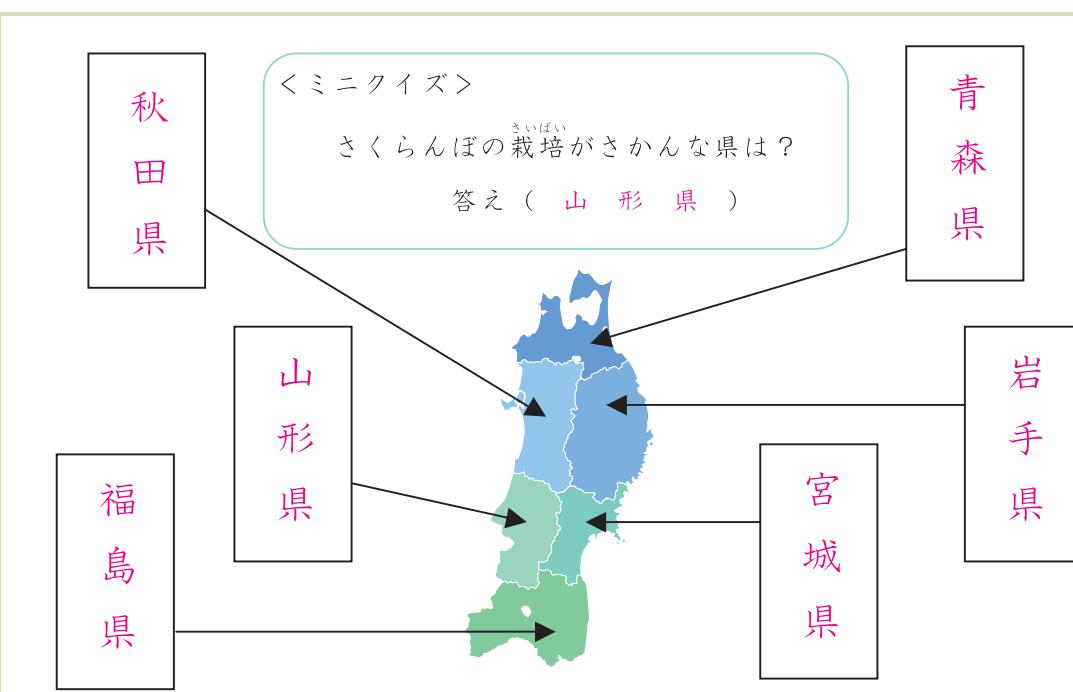
学習日 月 日()



☆次の部首の名前を()に書き、□にその部首のある漢字を集めましょう。

東北地方の県 (2)

矢印の県の名前を書きましょう。



特別な読み方の言葉

学習日 月 日()

☆ 次の言葉は、特別な読み方をする言葉の中でも、特に大事なものです。

()に読みがなを書き、□にその言葉を使った文を作りましょう。

① 昨日(きのう)

昨日は寒かったので、一日中
家にいました。

② 果物(くだもの)

私は、果物の中で、いちごが一
番好きです。

③ 景色(けしき)

このホテルは、窓からの景色が
すばらしい。

④ 清水(しみず)

山のふもとに清水がわき出て
います。

⑧ 八百屋(やおや)

母は、近所の八百屋で、たま
ねぎとじゃがいもを買ってきました。

⑦ 部屋(へや)

妹は、いつも、部屋をきれいに
片付けています。

⑥ (もの知り)博士(はかせ)

鈴木君は、友達から、鉄道博
士と言われている。

⑤ (文学)博士(はくし)

山田先生は、医学部で博士
号を取得した。



博士には2通りの読み方があるので、()の言葉が上に付く場合にどう読むか、で考えてください。

(いしかり)
石狩支庁



北海道には「支庁」と
いう分け方があるんだ
よ。

(あばしり)
網走支庁



(とかち)
十勝支庁

(ひだか)
日高支庁

ほっかいどう
北海道地方(1)

矢印の支庁の名前を読みましょう。

同じ読み方の漢字 1

学習日 月 日()

北海道地方(2) ほっかいどう

矢印の支庁の名前を書きましょう。

やじるし

しちょう

☆次の文中の()には、どんな漢字が入るでしょう。漢字の意味を考えて書きましょう。

① つく

洋服にどろが(付く)。

夜おそくホテルに(着く)。

⑤ わかれる

本屋の前で友達と(別れる)。

会議で意見が(分かれる)。

② かわる

顔色が急に(変わる)。

試合の中選手が(代わる)。

⑥ さめる

料理が(冷める)。

目が(覚める)。

③ はじめ

ベルの合図でテストを(始め)る。

(初め)て自転車に乗れた。

⑦ あげる

エアコンの温度を(上げる)。

進んで手を(挙げる)。

④ まわり

家の(周り)をさんぽする。

(回り)道をして家に帰った。

⑧ あう

目と目が(合う)。

公園で友達に(会う)。

石狩支庁



ぼくたちのごはんを栽培する場所は地図帳には何と書いてある?
答え
(牧草地)



<ミニクイズ>
4つの支庁の中で、ジャガイモの栽培が一番さかんなのは?
答え(十勝支庁)

網走支庁

十勝支庁

日高支庁

家の人のしるし↓

同じ読み方の漢字 2

学習日 月 日()

☆次の文中の()には、どんな漢字が入るでしょう。漢字の意味を考えて書きましょう。

① あける

夜が(明ける)。

店を(開ける)。

バケツの水を(空ける)。

④ かん

時(間)を大切にしよう。
外国の文化に(関)心をもつ。

② ち

おもちゃの電(池)が切れる。

日本(地)図を開く。

⑤ か

消(火)くん練をする。

消(化)のよい物を食べる。

⑥ い

(意)外にやさしい問題。

これ(以)外に方法はない。

交通安全に(注)意する。

電(柱)に車がぶつかる。

⑦ しん

成功する自(信)がある。

自分自(身)のせきにんだ。



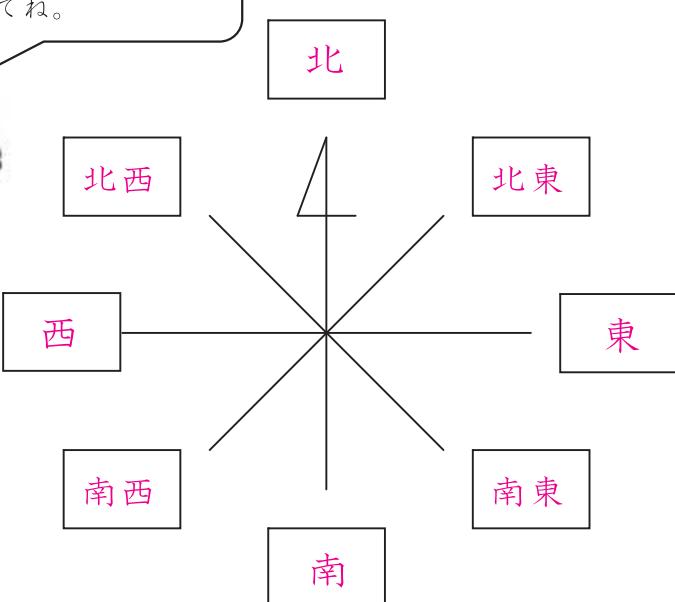
八方位

地図には、方角を表す方位記号がついています。

八方位は、東西南北だけよりもくわしく

方位を表すことができます。
□に方角を書きましょう。

地図帳や教科書で調べてね。



☆ 下の写真のように、地名は最初の文字を大文字で書きます。言葉全体を大文字で書くこともあります。



1 次の県内の地名の読み方を()に書きましょう。

- ① Hino (ひの) 日野
- ② Iwami (いわみ) 岩美・石見
- ③ Hokuei (ほくえい) 北栄
- ④ Kôfu (こうふ) 江府
- ⑤ Daisen (だいせん) 大山

2 次の県内の郡市名をローマ字で書きましょう。

<れい>鳥取市 Tottori-si 八頭郡 Yazu-gun

① 倉吉市

Kurayosi-si

② 米子市

Yonago-si

③ 境港市

Sakaiminato-si

④ 東伯郡

Tôhaku-gun

3 自分の住所をれいに習って書いてみましょう。

<れい>

鳥取市湖山町北5丁目201番地

ローマ字

Tottori-si

Koyama-tyô<Koyama-chô>

Kita5-201

※ 赤字のところは書き方が二つあります。ローマ字表をさんこうにしてください。

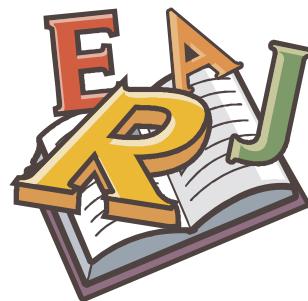
<自分の住所>

れい

Tottori-si

Higasi-mati<Higasi-machi>

1-271



- ☆ これは、鳥取空港の国内線到着口とバス乗り場の案内板です。
この案内板には、日本語の他にどんな言語が使ってありますか。
※むずかしかったら自分で予想を立ててから家の人に聞いてみましょう。



〈使われている言語〉

英 語



韓国語

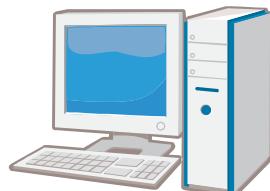
中国語

鳥取県にも、いろいろな国の人たちがやってきます。そのため、案内板もいろいろな国の言葉で書かれています。この案内板の中にも、地名を書き表すためにローマ字が使われています。

あなたも、町に出かけた時に、ローマ字で書かれている案内板をさがしてみましょう。みつけた場所や、案内板のしゅるいをメモしておきましょう。

〈メモ〉

駅、バス停、地下鉄、空港、ホテル、ショッピングモール、
市役所
そうごう案内板、地区案内板、説明板、ゆうどう板 など



- ☆ ローマ字はパソコンで日本語を入力するときにも使われています。

「ち」「じ」「づ」「ず」「ん」の入力のしかたは次のとおりです。

ち	…	D	I		じ	…	Z	I		づ	…	D	U		ず	…	Z	U
ん	…	N	N															

キーボードを打っているつもりで、□の中に大文字を書きましょう。

① はなぢ

H	A	N	A	D	I
---	---	---	---	---	---

② じめん

Z	I	M	E	N	N
---	---	---	---	---	---

③ つづく

T	U	D	U	K	U
---	---	---	---	---	---

④ くいづ

K	U	I	Z	U
---	---	---	---	---

★ 町の中に下のような案内板がありました。荒木又右衛門という有名な人の遺品館（いひんかん）があるようです。この有名な人の名前は何と読むのでしょうか。ローマ字を読んで、読み方をふきだしにひらがなで書きましょう。



この有名な人の名前は、

あらき またえもん

と読みます。

※ 人名も地名と同じように、最初の文字を大文字で書きます。全体を大文字で書くこともあります。「-」はつなぎの印、「」は切る印として使います。
くれい>

Kudou-Sin'iti

この人の名前は、

くどう しんいち

と読みます。



① あなたの名前をローマ字で書きましょう。2回練習しましょう。

② あなたの担任の先生の名前をローマ字で書きましょう。2回練習しましょう。

③ あなたが一度会ってみたい日本人（有名人でもいいし、歴史上の人物やまんがの登場人物でもいいですよ）のベスト4をえらんで名前をローマ字で書き、家の人に読んでもらいましょう。ちゃんと伝わったら、家の人に○をつけてもらいましょう。

ベスト1

ベスト2

ベスト3

ベスト4

ことわざ・慣用句

かんようく

学習日 月 日()

★ 次の①～⑤の説明に当たることわざを□のア～オの中からそれぞれえらび、記号で答えましょう。

①何をするにも根気が必要だということ。

(エ)

②出歩いて思わぬ幸運にめぐりあうこともあれば、不幸な

目にあう場合もあるということ。

(オ)

③どんなところでも住みなれれば、都のように楽しく住み

やすいということ。

(ア)

④自分がおかしたあやまちのために、自分が苦しむこと。

(ウ)
(イ)

- ① (耳) にたこができる
意味 同じ話を何度も聞かされることのたとえ
- ② (顔) にどろをぬる
意味 はじをかかせる。
- ③ (鼻) であしらう
意味 相手の言うことにろくろく返事もしないで、いいかげんにあつかう。
- ④ (口) がかるい
意味 おしゃべりで、なんでも言つてしまふ。
- ⑤ (首) を長くする
意味 まちこがれる

★ 次の①～⑤の慣用句の()には、体の部分を表す漢字が一字ずつ入ります。正しい漢字を入れて、慣用句を完成させましょう。



ア	住めば都
イ	寝耳に水
ウ	身から出たさび
エ	石の上にも三年
オ	犬も歩けば棒にあたる

故事成語

学習日 月 日()

4-44

家の人のしるし↓

☆ 故事成語とは、中国の古い本に書いてあることがもどになつて、とくべつの意味で使われるようになつた言葉です。次の①～⑤の故事成語の読みかたを□からえらんで――のよこに書きましょう。

また、下のア～オの中から正しい意味をえらび、()に記号で答えましょう。

ごじっぽひやっぽ

意味

五十歩百歩

(ウ)

かんべき

ア

詩や文章の言葉づかいや表現を、何度もよく考えてねりなおすこと。

りっぱなこと。

イ 完全で欠けたところがないこと。少しの欠点もなく

ウ 少しのちがいはあっても、ほとんど同じこと。にた

リよつたりで、大きなちがいのこと。

エ はじめにしたことや言つたことと、あとになつてし

たり言つたりしたこととのつじつまが合わないこ

と。

オ よけいなつけたし。いらないものを、あとからつけ

くわえること。

⑤

蛇足

(オ)

④

矛盾

(エ)

③

推敲

(ア)

②

完璧

(イ)

①

ごじっぽひやっぽ

かんべき

だそく

むじゅん

【上の故事成語の意味】

故事成語の由来を調べてみると、なぜそういう言葉ができたのかが分かるよ。故事成語辞典や漢字辞典などで調べることができるよ。おもしろいのでぜひ調べてみましょう。

